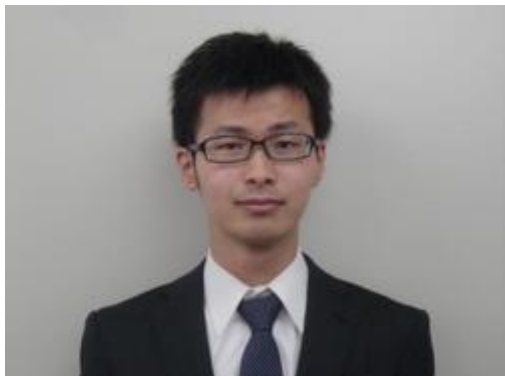


徳島県大卒程度(行政事務)内定者



TAC 地方上級・国家2種・総合本科生
S.M.さん(28歳)

合格: 徳島県大卒程度(行政事務)、徳島市上級(行政事務)
内定: 徳島県大卒程度(行政事務)

【今回の最終合格・内定の決め手】

TACの徹底した面接対策だと思います。

最初は面接練習で全く上手く話すことができず、沈黙になることも多々ありました。

しかし、個別練習などもしてもらい、説明不足だった点や自分の強みなどにも気付くことができ、本番には自信をもって臨むことができました。

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. 面接対策が充実していたこと
2. 一緒に頑張れる仲間がいたこと
3. 過去の面接のデータがあること(徳島県庁の選考は特殊なので、これがないとかなり苦労すると思います。)

【この合格体験記のタイトル】

七転び八起き

【これから受験される方へアドバイス】

公務員試験はやはり根気だと思います。

受験生活の中で大きな壁にぶつかり絶望することもあるかもしれませんが、焦らず問題点を明確にして1つ1つ克服していくことが重要です。

【TAC の教材でお勧め】

- ・講義レジュメ: 全体像がわかりやすくまとめてあります。
V 問題集などで新しい知識を得たときは、そのまま暗記するのではなく、レジュメなどでどこの内容なのか確認していました。
- ・模試: 本番の試験のつもりで受けるようにしていました。
体調管理や気持ちのコントロールなど改めて気付く点が多かったです。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

- ・学習時間は平均で 1 日 8 時間ぐらいです。
- ・早く学習を進めることよりも復習をしっかりすることに重点を置きました。
- ・重要度が高いものから取り組みました。最初は V 問題集の頻出度 A の正答の選択肢だけ覚えるようにしました。

【面接・集団討論など二次・三次対策】

徳島県庁が行っているイベントや行事は可能なものは全て参加しました。
勉強の息抜きにもなりますし、運が良ければそこで職員の方から仕事の話聞くことができます。
また、仕事の内容やそれがどのような人の役に立っているかを自分の目で見ることによって、徳島県庁で働きたいという気持ちが一層強くなりました。

【受験動機】

これまでの体験から行政によるセーフティネットの重要性を知ったため。

【最後に一言】

県庁職員の方から「職員になっても新しい法律を覚えたり企画をひねり出したりすることが求められるから、公務員試験を通して働く姿勢を身に付けるべき」とアドバイス頂いたことがあります。
働く姿勢を身に付けることを目標にしてからは膨大な試験対策も多少楽になりました。
試験対策の中で感じる「つらい、辞めたい」という気持ちと向き合うこともまた重要なのだと思います。受験生の方にはここを乗り越えて内定を勝ち取って頂きたいと思います。